

〈資料〉

教職相談活動報告 (2015年度)

小谷健一

はじめに

教員養成センターの開設以来、年々相談件数が増加する傾向にある。相談内容については、学校における教員の在り方や人間関係に関する事、児童・生徒の学習・生活実態に関する事など、教育現場の実情に深く関わるものが増えてきている。このような実態を踏まえて、教員養成センター主催事業や学校訪問の機会を活用するなどして、「現職教員から学ぶ」という視点を取り入れながら相談に当たった。

1 相談概要

来談者実人数は、平成28年1月21日現在で51名、延べ人数は528名であった。相談者実人数、延べ人数ともに昨年度と比べて増加している。特に、延べ人数は、9月末時点で昨年度の年間人数を上回った。学年別人数は、4年生40人、3年生10人、1年生1人であった。また、学部別では、地域学部39人、工学部7人、農学部5人であった。

相談内容は、昨年度に引き続き教員採用試験に関するものが多くを占めたが、教職に対する適性、実際の教員の仕事や授業、学校の子どもや保護者の実態等に関するものが年々増加する傾向にある。採用試験を間近に控えた時期や試験の合格が決定した後でも自分自身の教職に対する適性について悩む学生もあり、「現職教員」や「教育現場(学校)」から学ぶという視点を取り入れながら相談に当たった。

2 教員採用試験に向けての取り組み

相談内容の大部分を占める採用試験については、4月初から様々な相談があったが、各県の試験の動向や教育施策等の受験先選定に関するもの、採用試験の対策、準備の仕方に関するものが大きな柱であった。

これらの相談に対して、学生の情報収集への支援と情報提供に努めた。特に、受験先を決めるまでに時間を要する学生に対しては、実際に受験した先輩学生のアドバイス等が載った資料を活用するなどしてきめ細かな助言に努めた。また、面接や集団討議、模擬授業の練習を希望する学生に対しては、当人と相談しながら、受験日程に合わせて計画的に練習を積み重ねていった。

面接練習、模擬授業等への参加者は31人であった。学部別では地域学部26人、工学部2人、農学部3人であった。また、面接・集団討議の練習は、延べ151回実施した。模擬授業は延べ16回実施した。昨年度同様、4月初から2次試験の終わる9月まで継続した。

3 外部指導者による教員採用試験面接指導

面接指導については、教員採用試験対策であると同時に、教師の仕事に対する理解を深めたり、教員としての心構え、意欲等を高めたりする大切な機会であると捉え、昨年度に引き続き、学校現場での教職経験豊富な現職・退職校長による面接指導を実施した。

1回目は6月19日（金）に行い、集団面接と集団討議を行った。参加者は、地域学部22人、工学部4人、農学部1人、合計27人であった。受験校種別では小学校14人、中学校8人、高等学校3人、特別支援学校2人であった。

2回目は6月29日（月）に行い、1回目と同様に集団面接と集団討議を行った。参加者は地域学部23人、工学部5人、農学部1人、合計29人であった。受験校種別では、小学校11人、中学校13人、高等学校3人、特別支援学校2人であった。

参加者は、2回合わせて昨年度より19人増加した。

2回とも指導者は現役、退職校長の各1人ずつで、合計4人の方々をお願いした。集団面接、集団討議の後に、これらの指導にとどまらずに、学校の現状、子どもの見方や接し方、教員としての心構え等について、幅広く、具体的に話していただいた。

4 成果と課題

- ・ 教職を目指す決めて相談に来る学生と、目指すかどうか決めかねて相談に来る学生の両方がいる。両者の違いは、自分が目指す教師像を例えぼんやりとしているものであっても、描くことができているか否かの違いである。それは、今までの学校生活の中で、どんな先生と出会い、どんな関わりを経験してきたかということと大変関係が深い。そこで、今年度は本教員養成センターが主催する「学びの教室」等を活用して、「現職教員から学ぶ」ということをできるだけ勧めた。特に採用後3年経過の若手教員から話を聞く機会を設けたことは、学生の教員を目指す上での不安を取り除いたり意欲を高めたりすることに効果的であったと思う。
- ・ 教員採用試験については、各県の面接試験重視の傾向がより顕著になり、自己表現力やコミュニケーション能力、学校現場での課題対応力等が試されることが多くなってきている。したがって、今後、そのような力を伸ばすような相談活動や他の機関とのより一層の連携を検討していく必要がある。
- ・ 教職に関する図書が年々充実し、昨年度以上に教職学習室を利用する学生の姿が目立つようになった。また、各校種の教科書を閲覧する学生の姿も目にするようになってきた。相談活動の中でもさらなる活用を促していきたい。

小谷健一（鳥取大学大学教育支援機構・教員養成センター）